

安心、安全、  
そして快適に

新たな生命の誕生を、  
全力でサポートします。



豊川市民病院  
TOYOKAWA CITY HOSPITAL

# 安心安全な出産について考えたことはありますか

皆さまは、出産の安全性や、産後の安定した過ごし方などについて考えたことがあるでしょうか。実際には、おなかの中に生命が宿った時や、自分自身の体調に変化を感じた時などに産婦人科の存在が必要になってくるかと思えます。思いがけない出産のタイミングや、緊急事態にも即対応できるよう、当院では経験豊富な産婦人科医師やスタッフ、そして小児科をはじめとする他科との連携のもと、安心安全に新しい生命の誕生を迎える環境づくりに努めています。「いのち」という一人ひとりに与えられた貴重な時間に寄り添い、お母さんや赤ちゃん、ご家族の皆さまにたくさん笑顔がふれるよう全力でサポートします。

## 豊川市のお産の現状

現在、豊川市内での出産ができる施設は、当院を含めて2つの施設しかないという厳しい現状はご存知でしょうか。

産婦人科医師をはじめとしたスタッフ不足など、近年の急激な環境の変化により、妊婦健診は実施していても出産は実施していない施設も多くあります。

過去には豊川市内に4施設ほどあった出産することができ施設が現在は半分に減少し、豊川市内で出産したくてもなかなかできないという現状があります。近隣の市でもこのような現状があることから、豊川市だけではなく、近隣市町村との連携を大切に、東三河全体で産婦人科の現状を考えていなくてはなりません。



## 豊川市民病院のお産の現状

過去には当院も医師不足により出産の受け入れを休止せざるを得ない状況になったことがありました。現在では高度な医療設備の完備、産婦人科に特化した明るく開放的な病棟、様々な出産の受け入れなど、幅広く対応しています。

医師やスタッフの人数も少しずつ増え、年間450名ほど出産の受け入れを行っています。

中でも里帰り出産は増加傾向にあり、月に10名ほどの受け入れを行っています。豊川市内から離れていると、出産ができる施設の情報が疎くなってしまうと思えますが、当院でも里帰り出産の受け入れが可能ということは、ご家族への安心にも繋がることだと考えます。

他の病院と同様に出産ができるということを知っていただき、産婦人科選びの選択肢の一つとして考えていただけたらと思います。

## 豊川市民病院の産婦人科が提供できる特別な環境

当院は、総合病院としては珍しい産婦人科のみの病棟（18床）をご用意しています。多くの総合病院は、他科の患者さんみえる中での入院や出産、産後の経過観察が行われますが、当院では周りを気にすることなく過ごしていただくことができます。また、「助産師を中心とした院内助産」ということで、「バースセンター（おひさま）」の運営をしています。

バースセンターとは、医療設備のある病院内で出産のような自然な出産ができるシステムです。こちらでは、陣痛(Labour)、分娩(Delivery)、回復(Recovery)の時間を「家族とともに個室で過ごす」していただくことができるLDRスタイルを行っています。



バースセンター（おひさま）

正常経過の妊婦さんを対象に、ご自身やご家族の意向に沿った出産ができるように助産師がサポートしていきます。出産中に緊急事態が発生したとしても分娩室が

## とっさの判断と他科との連携で命を救う現場

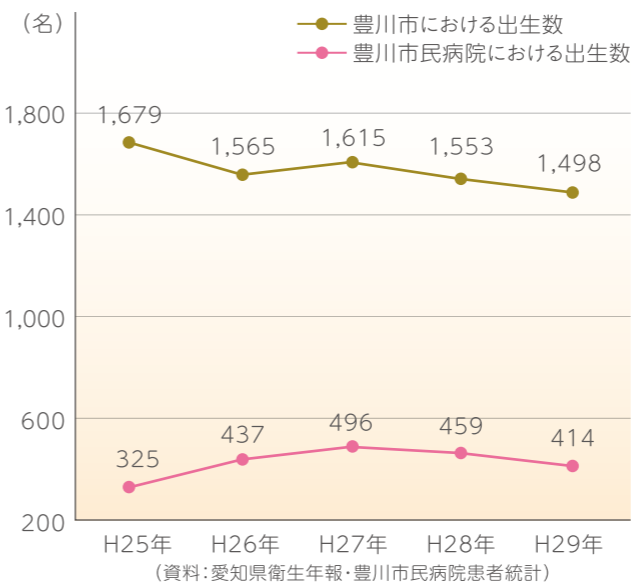
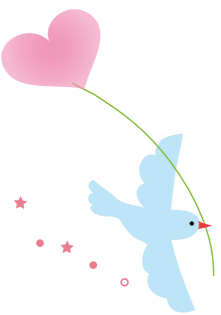
隣接されており、産婦人科医師や小児科医師との連携のもと対応が可能なおから、安心安全な出産をしていただくことができます。

皆さまが安心安全に出産していただくことができるように、産婦人科医師をはじめ、助産師や看護師の連携を大切にしています。特に助産師は、正常な出産の助産と、母子の健康を総合的に守る役割を担っています。

また、産婦人科病棟と小児科病棟それぞれの状況をしっかりと把握し、速やかな判断と適切な処置を行うことが、回復期の不安の解消にも繋がると考えます。

近年では、産後のホルモンバランスの変動などが原因で起こる可能性が高い産後うつ問題も多く取り上げられていますが、精神面でのバックアップ体制も充実しています。

通院時はこちらん産後まで、皆さまに寄り添い温かく見守っていくことが私たちの使命です。



# 新しい生命の誕生をサポートする スタッフの思い



産婦人科 診療部長  
**保條 説彦**

## 産婦人科との出会い

私が産婦人科医師を目指すきっかけになったのは、学生時代の研修先で双子の出産の立ち会いを経験したことでした。産まれたばかりの2人の赤ちゃんは呼吸が弱く危険な状態でした。それと同時に、お母さんも出血が多く一刻を争う状況の中、産婦人科医師1人で赤ちゃんの命とお母さんの命を助けようと奮闘していました。そのような危機を1人で対処し、3つの命を同時に救うことができる科というのはなかなか無く、このような科に関わりたいという思いから産婦人科医師を志すことを決意しました。

私はこれまでに多くの出産に立ち会ってきましたが、同じ出産は一つとしてありません。無事に産まれてきて



看護師長  
**清家 直美**

## スタッフ一人ひとりが 自信と誇りに満ち溢れています

当院では、平成30年10月現在において、助産師22名、看護師4名の充実した人員体制で産婦人科病棟の運営を行っています。

助産師を中心とした出産ができる院内助産施設「ベースセンター（おひさま）」も併設されており、出産スタイルが選択できるのも当院の魅力の一つです。

産婦人科や小児科など、他科の状況をしっかりと把握し、情報共有を行うことによりさらなる安心安全な出産を心がけています。

また、不安を抱える妊婦さんの精神面でのサポートを行うために、近くで寄り添うことはもちろん、専門知識や技術の向上に努めることも大切です。

家族のはじまりに関わり、産まれた赤ちゃんを抱いて元気に退院していくお母さんやご家族に、「心から」おめでとつございます」と伝えられることに、自分自身も大きな喜びを感じています。

これからは、出産を通してさらなる地域の活性化にも繋がっていくとともに、引き続き皆さまを全力でサポートさせていただきます。

ほしい、そのような思いで出産にのぞまれる方やご家族の気持ちを第一に考え、それぞれの出産に対して全力でサポートすることが私を含め、助産師や看護師の強い思いでもあります。

## 豊川市の産婦人科の発展を 目指して

過去に比べると、産婦人科医師を志望する人が増えてきました。その中でも女性の志望者が増えてきました。また、まだまだ充足しているとは言えない厳しい状況です。

近年は、女性医師への受診を希望される方も増えていたため、女性医師はとも貴重な存在です。

今後は、スタッフの配置体制の強化とともに、小児科などと連携しながら行う「地域周産期母子医療センター」の認定を目指しています。

これからは安心安全な出産、そして快適に過ごしていただくために、人員体制を整え幅広い出産のニーズに対応していけるよう、豊川市の産婦人科の皆としてさらなる発展を目指していきます。



助産師  
**富田 泰子**

## 産まれてくる赤ちゃんも おなかの中で家族を感じています

私が子どもの頃にもらうプレゼントと言えばお医者さんセットと言うくらい、医療の道に興味がありました。学生時代に目にした出産の場面をきっかけに、助産師を志すことを決意しました。

おなかの中にいる赤ちゃんは、ご家族それぞれの思いを感じながら産まれてきます。様々な感動のカタチに立ち会えることは私自身の喜びでもあり、助産師としてのやりがいを感じる場所でもあります。

助産師が活躍するのは出産の時だけでなく、女性のライフサイクルを見守る立場として、女性の一生に関わっていくこととなります。思春期を迎える10代の方から、これから赤ちゃんを産みたいと考えている方に対して、命の尊さをもっと知っていただく機会をつくっていただけたいと考えています。

今後も妊婦さん一人ひとりに満足していただけるよう、さらに経験を積んでいきたいと思っています。



当院で  
ご出産された  
3名の方に  
伺いました。

## 利用者様の声

### 里帰り出産をしました

●A・Iさん 平成29年7月男の子出産  
県外に在住している私は、里帰り出産を希望していました。

里帰り出産をするにあたって、家族と相談し、実家からの距離や、立ち会い出産を考慮した交通の利便性、総合病院ならではの安心感などから、豊川市民病院で出産することを決めました。

豊川市民病院のような総合病院は、リスクを抱える出産しか受け入れられないと聞いたことがあり、断られてしまうかとも思っていました。が、スムーズに受け入れてもらうことができました。

2人目の出産もぜひ豊川市民病院にお世話になりたいと思っています。

### 小児科医師に お世話になりました

●A・Sさん 平成26年4月女の子出産  
平成30年1月男の子出産

豊川市民病院は自宅や両家の実家から近く、何よりも豊川市内にある職場から通院しやすいことが、市民病院を選んだ大きな決め手でした。

経過順調で出産を迎え、子どもの産声を聞いたのも束の間、小児科での対応が必要になってしまいました。小児科医師の迅速な処置により順調に回復し、母子ともに健康な状態で退院することができました。

誕生後にはお祝いとして、栄養士さん手作りの心のこもった食事を、メッセージカードとともにいただいた時にはとても感動しました。緊急事態に備え、豊川市民病院で安心安全な出産を迎えることができて良かったと思います。

### ベースセンターを 利用しました

●E・Hさん 平成26年2月男の子出産  
平成28年4月女の子出産

私は助産師所での出産を希望していましたが、助産師所での出産に少しの不安を感じていました。豊川市民病院は院内に助産所があり、産婦人科医師や小児科医師がいるという、まさに私の希望に合った施設でした。

助産外来を受診していましたが、たくさん質問にも助産師さんがゆっくり時間をかけて説明してくださいました。

私の中での不安を取り除くことができた助産外来は、とても貴重でした。  
産後は、温かみのある畳の部屋で家族と一緒に過ごすことができました。

総合病院内にある助産所での出産を選んだことにより、安心して出産にのぞむことができました。





入院

陣痛・来院

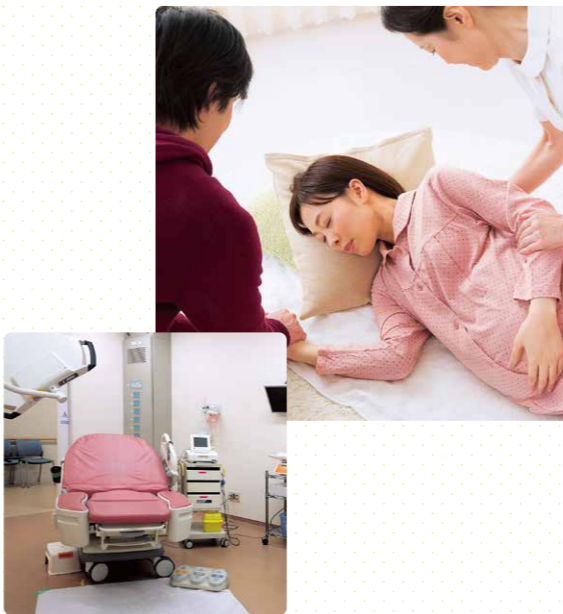
陣痛が始まったり、破水するようことがありましたら、まずはお電話にてご連絡ください。平日昼間は産婦人科外来、それ以外は産婦人科病棟の助産師が対応させていただきます。入院後は、陣痛室で経過をみます。



出産

立ち会い出産も可能

出産は、ご主人のみの立ち会い出産が可能です。出産後2時間は、分娩室で経過をみます。



産後

各部屋で心身の回復

希望に応じて、個室と2人部屋が選択できます。お母さんの身体の回復を待って、母児同室の開始となります。出産後の夕食にお祝い食をお出ししています。「和食」か「洋食」のどちらかをお選びいただけます。



赤ちゃんの沐浴・退院指導

赤ちゃんの沐浴指導や退院指導の他に、退院後スムーズに育児が開始できるよう、一人ひとりに合わせた授乳指導を行っています。



退院

退院

退院後も母乳外来で授乳や育児の不安に対してフォローしていきます。



Q&A

妊娠編

●自宅での妊娠反応が出ました。いつ病院を受診したら良いですか？  
できるだけお早めに来院してください。

●分娩費用はどのくらいですか？  
正常分娩で6日間個室を利用した場合、50万円程度です。(分娩時間や状況により異なります。)直接支払制度を利用されると、一時金分は差し引かれます。

●病棟の見学はできますか？  
後期の両親学級で病棟案内を行っています。

●無痛分娩はできますか？  
当院では行っていません。

●妊娠中のインフルエンザワクチン接種は可能ですか？  
接種可能です。

出産編

●里帰り出産はできますか？  
できます。妊娠初期(5ヶ月まで)に2度紹介状をご持参の上、受診してください。その際に分娩予約を行います。また、妊娠32週以降は当院での妊婦健診を受診していただくことが条件となります。

●出産中の写真撮影や、ビデオ撮影はできますか？  
ご家族で協力して出産にのぞんでいただきたため、出産中のビデオなどの撮影はご遠慮いただいています。出産後の撮影は可能です。

●出産時の色々な希望はかないますか？  
妊娠中にどのような出産をしたいかという希望を伺っています。当院で実施可能な内容でしたらできる限りご希望に沿った出産になるよう、お手伝いさせていただきます。

●入院中の赤ちゃんの着替えやおむつは必要ですか？  
入院中の赤ちゃんの衣類やおむつは、当院の物を使用させていただきます。

●面会時間は何時までですか？  
午後1時～午後8時までです。

産後編

●母児同室ですか？  
基本的には母児同室です。

●授乳中のお薬に制限はありますか？  
お薬が必要な場合は、当院の薬剤師がその都度説明させていただきます。当院には、病棟に対応する薬剤師が配置されていますので、お薬に対する不安や疑問を減らし、安心していただけるよう心がけています。

●シャワーやお風呂は利用できますか？  
産後は、シャワーのみ利用していただけます。

●母乳育児について不安を感じますが、相談に乗ってもらえますか？  
母乳のことはもちろん、育児をはじめ様々な相談やケアを、母乳外来にて行っています。

## バースセンター(おひさま)のご紹介

当院にあるバースセンターとは、医療設備のある病院内で、助産所のような自然な出産ができるシステムです。

バストイレ付きで畳敷きの部屋が2部屋あります。産後はご家族でお過ごしいただくことができます。

自分らしい出産や、より自然で安全な出産をするためには、ご自身の健康管理が大切になってきます。正常経過の妊婦さんを対象に、妊婦さんご自身やご家族の意向に沿った出産ができるよう助産師がサポートしていきます。

詳しいことは、当院までお気軽にお問い合わせください。  
(お問い合わせ先:豊川市民病院西6階病棟 0533-86-1111)



## 助産外来のご案内

助産外来とは、妊婦健診や保健指導を助産師が担当する外来を言います。

一人当たり約1時間お時間を取らせていただき、助産師がお母さんや赤ちゃんの健康状態を確認していきます。

また、ゆっくり時間をかけてお話を伺いながら、ご自身の身体や赤ちゃんとしっかり向き合うことができるようサポートさせていただきます。

## 「産科オープンシステム」をご存知ですか？

当院では、豊川市牛久保町にあります渡辺マタニティークリニックと連携して、「産科オープンシステム」という制度を取り入れています。

「産科オープンシステム」とは、通常の妊婦健診は近くの病院などで受診していただき、出産は設備などが十分に整った総合病院で行うシステムのことをいいます。妊婦さんの利便性を保ちながら、それぞれの医療機関の特性を生かした役割や機能を有効に発揮することができます。

豊川市民病院は地域の中核病院として、今後も他の医療機関などとの連携を進めていきます。



豊川市民病院  
TOYOKAWA CITY HOSPITAL

〒442-8561 愛知県豊川市八幡町野路23番地

TEL.0533-86-1111(代) FAX.0533-84-1327

URL <http://www.toyokawa-ch-aichi.jp>